

# コミュニティ活動の 中心地

## ■10周年を迎えた矢立公民館■

▷10周年記念行事での粕田の獅子舞



矢立公民館は、昭和52年11月にオープンし、53年4月には公民館に併設して体育館も完成しました。

矢立地区はコミュニティ活動が盛んな所で、昭和60年に国から「コミュニティ推進地区」に指定されました。地区のコミュニティづくりの場、社会教育の場として公民館は多くの住民に親しまれ利用されています。

公民館創立10周年を記念して、8月14日に公民館前の広場で各種行事が行われました。午後5時から、粕田や白沢の獅子舞が披露され、7時からは記念式典に引き続き盆踊り大会、花火大会などのほか、地元出身のプロ歌手・大川たかしさん（本名・鈴木俊雄さん、陣場）の特別出演もありました。約700人ももの地元住民の方々やお盆で帰省した方たちは、夜遅くまで10周年を祝うと共に、親睦を深めました。

# 矢立編



# マガイタウンガイド

## 人物登場

山田ロード(60歳の部)4連覇

山内 周助さん  
(岩本・64歳)

山田記念ロードレース優勝五回、秋田空港開港記念県民マラソン優勝三回、県民スポーツ陸上競技八百メートル優勝二回、県マスターズ陸上競技で三種目優勝……。この輝かしい記録を見ると、六十四歳の山内さんが長い間陸上競技を続けてきた方が、という印象を受けますが、実は始めたのは十年前から、「運動会で走るのが速かったので、知人に大館走友会に入るように勧められ入会したのがきっかけです。最初に出場した大会は、山田記念ロードレース五十歳の部で、距離は十キロでした。この時はまだペース配分がわからずただ夢中で走りました。三キロがくらのところで、苦しくて苦しくてどうしようもなくなり、走るのをやめようかと思いましたが、しかし苦しいのは自分だけじゃない。みんなも苦しいんだ、と思い直し走り続けました。ゴールしたら、トップと四秒差で二位でした。入賞するなんて思ってもい

## 地名の由来

「やたての齋杉」

菅江真澄著「筆のまにまに」の中に、「やたての齋杉」という一節があります。その中で、57代陽成天皇のころ、大館城主公家が元慶4年(880年)に碓が関の橘吉明を攻め、これを討ち、大館に兵を引き揚げる途中、大杉に矢を射立てこれを納め置いた。そのころより矢立杉と言うようになった、とあります。それにより、この地方を「矢立」と呼ぶようになったとされています。

(平凡社刊内田武志編「菅江真澄随筆集」)



△58年の山田記念ロードレース大会で優勝し表彰状を受ける山内さん(中央)

なかつたので本当はうれしく、そして自信もつきました。もしあの時、走るのをやめていたら、いろんな大会に出場し、入賞することもなかったと思います。現在は勝つことを意識して走るのはなく、自分の健康のためだと思って走っています。」  
陸上競技の各種大会で入賞している山内さんが、今までで最もうれしかったこと。それは、昨年の農業共済組合主催の水稲損害評価見聞競技会で「優秀賞」を受けたことだそうです。  
「町内の代表としてこの競技会に参加でき、このような賞を受けることができたのは、町内の方たちのおかげです」と話していました。